

第 39 回（令和 7 年度）岡山県性教育研究大会報告

岡山県性教育協議会
会長 西山 俊吾

1 研究大会開催にあたって

本大会では、来年度の全国大会を見据えて野津理事長の講話と 2 つの講演を行い、その講話と講演をテーマにグループトークを行いました。

大会主題は「様々な活動を繋ぎ、地域に広がる性教育を目指して」とし、岡山で性教育に取り組んでいる方々の活動を繋ぎ、様々な視点での性教育を行うことにより、包括的な性教育に近づくことができるのではと考えました。

参加者からは、「様々な立場から性教育について聞くことができ、自身が感じている課題についてもご意見をいただくことができ、大変よい機会であった」や「会場の温かい雰囲気味わえ、講師の先生方の講話や講演の内容も入りやすかった。グループワークでも、性教育に取り組んでおられる方の生の声を聞くことが出来てよかったです」など、対面形式の研修会に意義を感じる声が多く寄せられました。ただ、「性教育の実践発表など、実際の指導の様子が分かるものがあれば、よりありがたいです」など、現場の先生の実践の発表を希望する声が毎年聞かれ、今後の課題です。

2 大会の内容

期 日 令和 7 年 8 月 19 日（火）

会 場 岡山県立大学

参加者 37 名

3 基本テーマ

様々な活動を繋ぎ、地域に広がる性教育を目指して

ー岡山県の性教育のこれからを考えるー

4 講話・講演

【講話】

「性教育の現状と課題」

全国性教育研究団体連絡協議会

理事長 野津有司

諸外国の性教育の状況や世界性の健康学会の

話題などについてお話ししていただきました。

また、15 歳の性交経験率について、世界の状況や JASE の調査結果などについても、お聞きしました。後半は学習指導要領や保健教育における個別指導と性教育の関連などについてもお話ししていただきました。



【講演①】

「誰もが快適な生理を」

誰もが快適な生理を 代表 野口俊英
性差に関係なく、女性特有の健康課題解決に取り組み、誰もが過ごしやすい世の中を創ることを目指して活動していると話されました。

女性特有の健康課題による経済損失のお話やノンポリマーナプキンの学校等への普及活動についてもお聞きしました。

【講演②】

「リプロダクティブヘルス・ライツと包括的セクシュアリティ教育」

岡山中央病院副院長 金重恵美子
長年にわたる、女性の健康を総合的に支援する活動についてお話ししていただきました。現場の養護教諭の先生方にはあまり聞く機会の少ない話だったのではないかと思います。また、女性の健康支援のためには、包括的性教育が必要であるともお話しされていました。

5 グループトーク

今回は、3 つの講話、講演をお聞きしたので、それらのお話について、自由にトークをしていただきました。

6 終わりに

今後も対面形式を基本に、ていねいに研究会を重ねていきたいと思っています。